

ともに挑む。ともに実る。

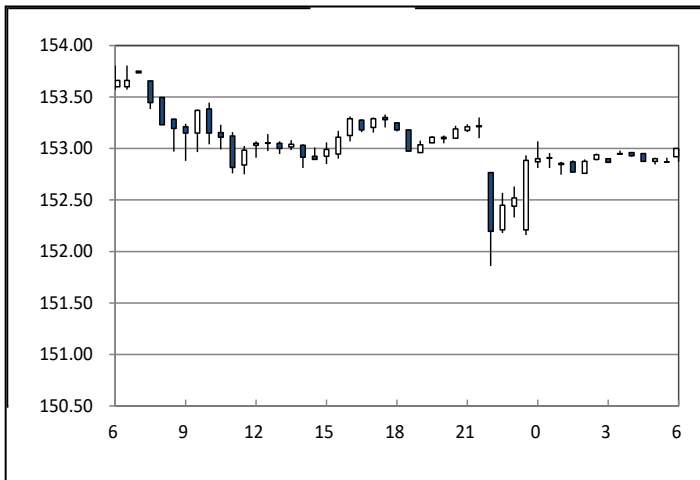
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/05/07 号 (As of 2024/05/03)

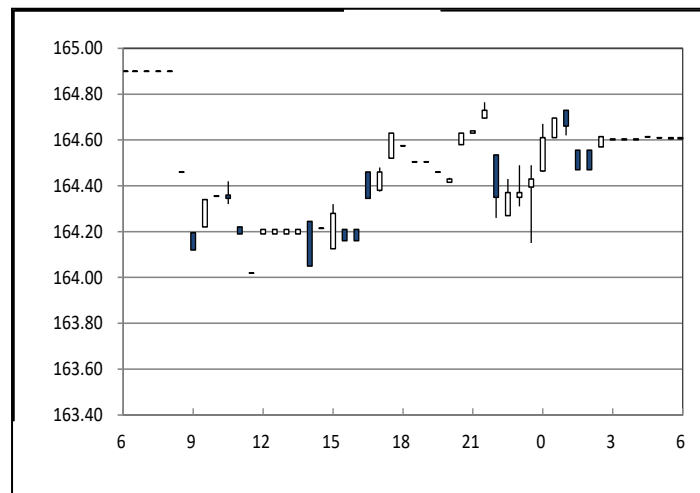
【昨日の市況概要】

	公示仲値			-	
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	153.15	1.0727	164.22	1.2537	0.6571
SYD-NY High	153.75	1.0812	164.76	1.2634	0.6650
SYD-NY Low	151.86	1.0724	164.02	1.2530	0.6565
NY 5:00 PM	153.00	1.0764	164.61	1.2547	0.6611
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38675.68	450.02	日本2年債	-	-
NASDAQ	16156.33	315.37	日本10年債	-	-
S&P	5127.79	63.59	米国2年債	4.8035%	▲0.0754%
日経平均	-	-	米国5年債	4.4800%	▲0.0964%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.4965%	▲0.0918%
シカゴ日経先物	38385.00	485.00	独10年債	2.5085%	▲0.0430%
ロンドンFT	8213.49	41.34	英10年債	4.2230%	▲0.0620%
DAX	18001.60	105.10	豪10年債	4.4200%	▲0.0450%
ハンセン指数	18475.92	268.79	USDJPY 1M Vol	9.46%	▲1.09%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	9.52%	▲0.71%
NY金	2308.60	▲ 1.00	USDJPY 6M Vol	9.67%	▲0.44%
WTI	78.11	▲ 0.84	USDJPY 1M 25RR	▲0.84%	Yen Call Over
CRB指数	286.51	1.77	EURJPY 3M Vol	9.13%	▲0.66%
ドルインデックス	105.03	▲ 0.27	EURJPY 6M Vol	9.40%	▲0.50%

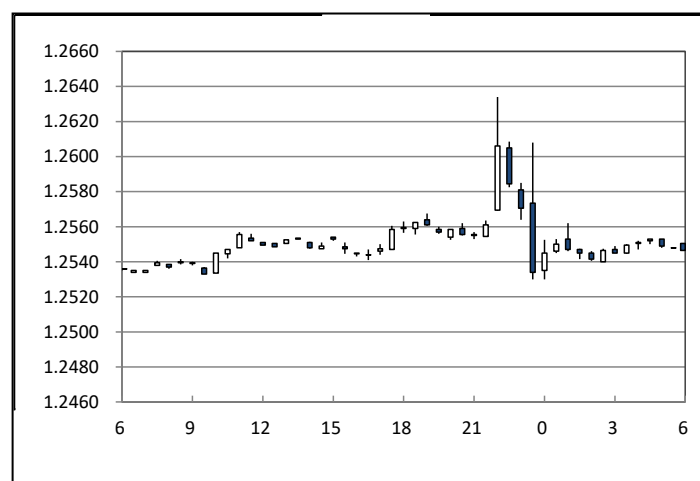
【ドル円相場】



【ユーロ円相場】

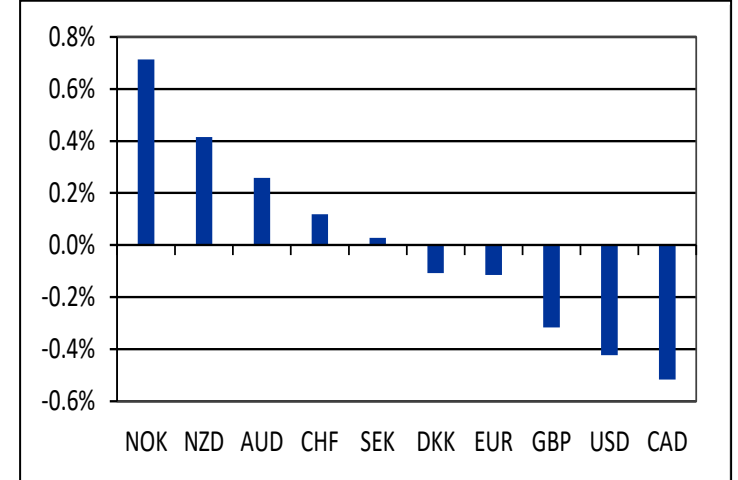


【ポンド相場】

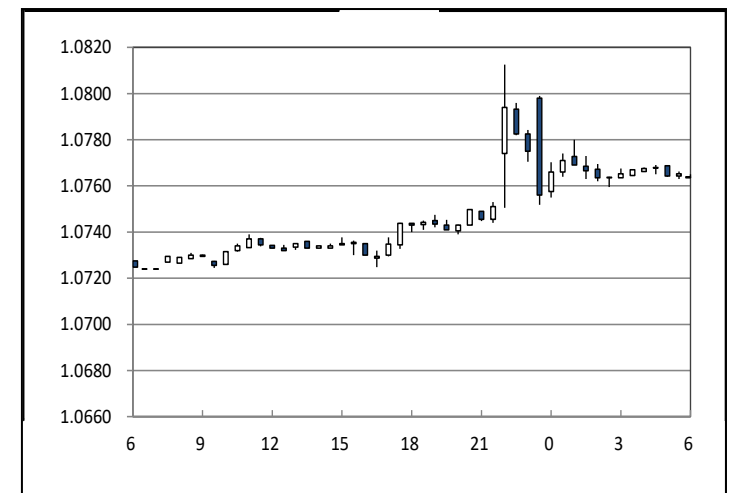


金融市場部 為替営業第二チーム

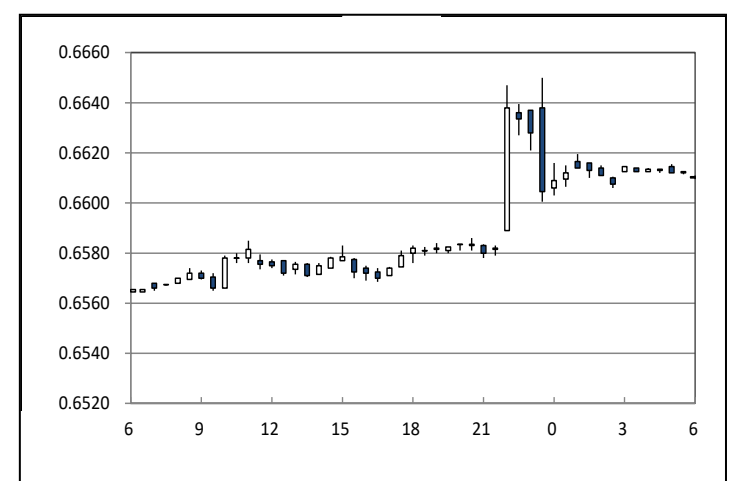
【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



東京	アジア時間のドル円は153.15レベルでオープン。東京休日により参加者も少なく、中国本土も休日となる中でアジア時間は手掛かりに乏しいマーケット。本邦当局による介入やNY時間に発表される米4月雇用統計への警戒感からドル円は上値重く、一時152円台後半まで下落。後半は小幅に持ち直し、狭い値幅でもみ合った後に153.11レベルで海外時間へ渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、153.11レベルでオープン。午後に米4月雇用統計を控え、方向感なく小幅推移し、結局153.21レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は153円台半ばでスタート。米雇用統計の結果発表前のポジション調整の動きや、米長期金利が低下する展開を受け、ドル円は軟調な値動きとなり、153.21レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米4月非農業部門雇用者数変化指数と平均時給(前月比)は予想を下回り、失業率も予想より悪化する等、米労働市場が減速していると思わせる弱い内容となる。発表後は、米金利が大幅低下する展開にドル売りが優勢となり、一時152円台を割り込み、151.86まで下落。その後は売り一巡となった事や、パウマンFRB理事が今後の政策金利を巡って「データ次第では追加利上げの用意がある」との発言が伝わると、徐々に買戻しの展開となる。続いて発表された米4月ISM非製造業景況指数は予想を下回るも、ドル円への影響は限定的で、152.80付近まで戻す。午後買い戻しが続き、152.90付近を中心とした推移が続き、153.00レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。米長期金利の低下や、欧州株高の動きが支えとなり、じり高で推移し、1.0746レベルでNYオープン。午前中は先述の弱い米4月雇用統計の結果を受け、米金利が大幅低下する動きを横目に、1.0812まで上伸。しかし、その後は米金利が低下幅を縮小させた事を受け、ドルが買い戻される展開を受け伸び悩み、1.0780近辺まで反落。午後は週末を控え、1.0760付近でほぼ横ばいで推移し、1.0764レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・松木